

インターネット上のまちがった情報について

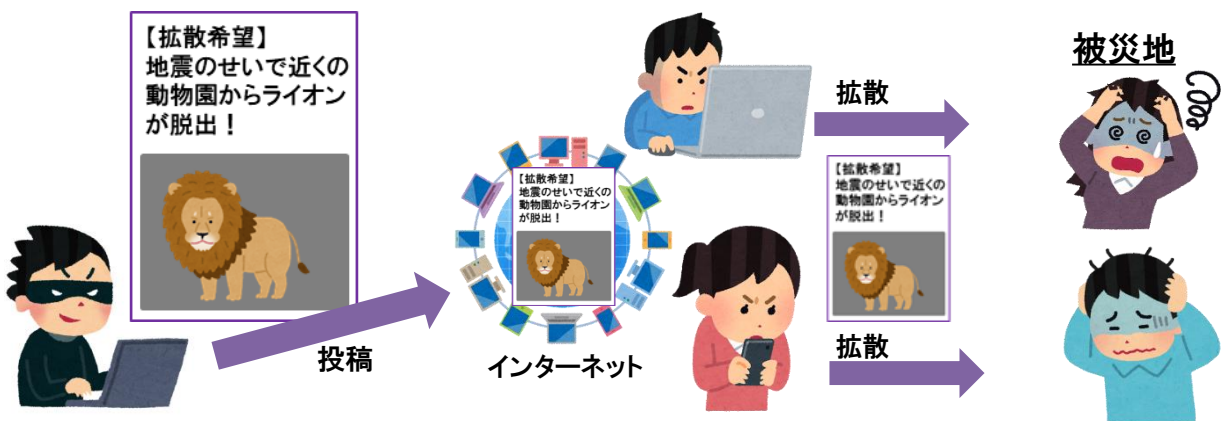
インターネットは情報収集ツールとして、私たちの生活にすっかり定着しました。キーワードを入力して検索するだけで、自分がほしい情報を簡単に調べることができますし、24時間いつでも最新の情報を入手することができます。とても便利です。

しかし、インターネット上の情報は全て正しいわけではありません。デマやまちがった情報もあり、そうした情報が大きな問題を引き起こしてしまうこともあります。

情報の正しさを確認することが大事

インターネット上のデマやまちがった情報が大きな問題としてとりあげられる例に、地震などの災害時があげられます。

大きな災害が起きた際、インターネット上には避難場所や救助要請などの重要な情報が流れる一方、「地震のせいで近くの動物園からライオンが脱出！」などといったデマも拡散され、被災地の人たちを混乱させました。



このようなデマを拡散させた人たちは、「人命に影響する重要な情報だから、早く広めない」という善意の気持ちで拡散させたのだと思われます。しかし、その情報が正しいかどうか確認せずに拡散させたため、結果的に多くの人たちの不安をおおる結果となってしまいました。

こうした事態を防ぐためには、日頃から以下のようなことを意識してインターネット上の情報をとりあつかうことが必要です。

- ・正しいかどうか分からない情報は、絶対に発信・拡散しない
- ・情報がのっているサイトや、情報の提供元が信頼できるかどうか確認する
- ・インターネットの情報だけではなく、書籍や新聞、テレビ、ラジオなど複数のメディアから情報を入手する



インターネット上の情報をうのみにするのではなく、情報の正しさを自身で確認する習慣をつけましょう。